

令和7年度「星空を楽しむ」 実施報告書



I 事業の概要

1. 期 日 令和7年10月25日(土)～10月26日(日) 泊2日

2. ねらい

星空観察を通して、宇宙や自然環境について興味関心を持ち、雄大な自然の中で自然環境の素晴らしさや大切さに気づき、故郷を愛する気持ちを育てる。

3. 講 師 倉吉自然科学研究会 中本義明氏

4. 対 象 小・中学生とその家族 12組

5. 応募者 8組 21名

6. 参加者 4組 11名

7. 参加費 2,000 円

8. 日 程



10月25日(土)	10月26日(日)
15:00 受付開始	7:00 起床
15:30 出会いの集い	7:30 掃除
16:00 交流レクリエーション	8:00 朝食
16:50 オリエンテーション・荷物移動	8:45 退所点検・荷物移動
17:30 夕食	9:00 クラフト体験(ススキのミミズくづくり)
19:00 星空観察(館内)	10:30 感想記入
20:30 入浴	10:45 別れのつどい・解散
22:00 就寝	

II 実施状況

■1日目の活動の様子<10月25日(土)天候 曇り時々雨>

当日は4組の家族、11名の参加者となった。出会いのつどいでは、職員自己紹介の後、家族ごとに自己紹介を行った。家族ごとに発表をしている様子はとても和やかであった。

出会いのつどいの後、交流レクリエーションを行い参加者同士の親睦を深めた。自己紹介カプラの場面では参加者全員で一つの輪となって行うことで、参加者全員で交流を深めることができた。



オリエンテーションで施設利用についての説明を受けた後、夕食を取った。各グループで協力し合って準備ができた。

星空観察は、曇り空で屋外では実施できなかったために、室内での講話となった。星空をプロジェクターで映しながらの講師の中本さんの話を聞いていると、参加者から何度が質問があり、星空への関心の高さが感じられた。講話の途中、星が見えそうだったので屋外に出てみると、星が一瞬ではあったが見ることができた。

星空観察の後、入浴の時間までに時間が少しあったのでニュースポーツのボッチャを行った。ボッチャはとても好評で、特に子どもたちから「もっとしたい」という声も聞くことができた。

■ 2日目の活動の様子<10月26日(日)天候 くもり>

2日目は朝食後、クラフトでススキのミミズク作りを行った。屋外に出てススキを獲る予定だったが、前日の雨で濡れたススキはクラフトに使用できないため、予め指導員で準備していたものを使用した。

クラフト担当の指導員が、ススキのミミズクにまつわる紙芝居をすると、物語の舞台となっている地域に住んでいたという参加者が多いことが分かった。共通点が見つかったことで、会話がとても盛り上がり、参加者同士の交流が更に一層深まった。また、想像力を活かして、いろいろ工夫を凝らしたミミズクを作ることができた。

Ⅲ 総 括

1. 参加者の感想(抜粋)

- ・ ミミズクを作るのが楽しかったです。
- ・ 皆で「見えないかな～」と、くもり空を見上げるのもよい体験となりました。ススキに触れるのもなかなかないですし、ミミズク作りにほっこりしました。
- ・ 星空観察が外ではできなくて残念だったけど、楽しかったです。
- ・ 星空は見えませんでしたけど、十分楽しかったです。また来たいです。

2. 成 果

- ・ 星空観察が屋外でできなかったのが残念だったが、ボッチャをしたり、空き時間にボードゲームを使っていたりすることで、家族間の交流が深まり、満足していただくことができた。
- ・ 専門知識を持っている講師の方に説明していただけたことで、参加者の星空への関心をさらに高めることができた。
- ・ ミミズク作りで、始めに紙芝居をしたことが参加者同士の交流を深めることにつながった。

3. 課 題

- ・ 今回、残念ながら天候に恵まれなかったが、今後も星空観察に適した期日を実施日に設定する。
- ・ 星空観察は天候に左右されるので、屋外でできない場合のプログラムの充実を検討していく。

